

ADB News Release

ASIAN DEVELOPMENT BANK

6 ADB Avenue, Mandaluyong City
P.O.Box 789
0980 Metro Manila, Philippines
Tel: (63-2) 632-4444
Fax: (63-2) 636-2444

ADB、6億ドル緊急津波基金の創設を正式決定 3月18日にADBがマニラで関係国会議開き協調体制を検討

〔マニラ フィリピン 2005年2月18日〕 アジア開発銀行（ADB）理事会は、昨年12月のアジア津波災害で影響を受けた国々への緊急対応のための6億ドル基金について、最近開いた理事会で正式に創設を決めた。

基金は、津波で影響を受けたインド、インドネシア、スリランカ、モルジブ、それにタイの復興や再建をサポートする緊急技術援助や投資プロジェクトに対して、無償で資金供与する。

ADBは基金に関して、当初は6億ドルの資金を拠出したが、今後は、二国間、多国間の資金支援あるいは民間企業や財団を含めた個人の資産家などからの資金支援を受け入れ、基金の規模を増やす。

基金の資金は、津波災害で被害を受けた人達の緊急の復旧サービスに充てられる。水道、公衆衛生設備、電気、通信などのパブリック・サービスや、道路、鉄道、港湾などのインフラストラクチャー、健康、教育、農業、漁業、住宅、生活の復旧、環境被害の抑制などが対象になる。

ADBは、被災した関係国の政府と協力しながら、いま、迅速に復興計画をつくっている。そしてADBは、世界銀行や国連機関はじめ他の公的機関と協調して実施しているアセスメント調査結果をもとに、被災国に対する必要な資金を基金から提供できるようにする。

ADBの津波災害に対する資金面でのコミットメント額は、今回の6億ドルの基金に既存プロジェクトからの資金移し替えによる1億7500万ドルを加え、総額で7億7500万ドルにのぼる。

また、ADBが主催して関係国のハイレベルの会議を3月18日にマニラのADB本部で開き、津波災害で影響を受けた国々への支援に関する協調体制を検討する。会議では、復旧状況を分析し、各国がこれまで表明した復旧のための約束した支援策が、今後4、5年にわたって効果的にいくように討議される。

このハイレベル会議には、被災国や資金提供国の関係閣僚、国連や世界銀行などからシニアクラスの代表らが招請されている。

Media Inquiries Only

アジア開発銀行駐日代表事務所
牧野義司

Telephone: (090) 4936-9709
(03) 3504- 3160 (office)

Email: ymakino@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

Online Media Center: <http://www.adb.org/media>
Internet site: <http://www.adb.org>